

改修を先行して実施する。財源は合併特例債と基金を先行して充てるので支障はない。

公立保育所の耐震対策

伊藤初美議員

耐震性が不足との結果が出た公立保育所の

対応は、緊急調査の結果を踏まえ、平成26年度の早い時期に緊急工事を実施したい。

快適な空間を

…まちづくり

市内循環バス運行の拡充・改善を

足立志津子議員

市の調査結果で、市民要望は「運行本数を多く」「駅へのアクセスを」「通勤通学時間帯の増便」となっている。財政枠を増やし、運行拡充を図るべきでは。

答 現行予算3千万円を変えず、平成26年度には新しい運行にしたい。

市内循環バスのニーズ把握は

谷 新一議員

市内循環バスが市民のニーズに合致しているか否か、市はどのような



な現状認識か。アンケート調査では、駅への移動が多いことや運行本数、運行時間帯について一定の水準が求められている。市と

道路等の包括管理を民間に委託を

五十嵐正明議員

道路の修繕や街路樹、街路灯等の巡回、清掃などを民間業者に一括して委託することで、サービスの向上が図れるのでは。

答 維持管理や修繕・改修に要する費用が増加している。道路管理手法のあり方については、指定管理、民間事業者に委託する場合等、今後検討する。

市街地整備の今後は

谷 新一議員

都市計画決定されながら長期間にわたり、事業化されていない道路



や市街地整備について、今後の方向性は。

答 現状と事業の課題を分析して、その必要性を再検証し、適切に見直しを進めていきたい。

問 今後、優先して着手すべき都市計画事業はあるのか。

答 現在においては、上福岡駅前通線東口駅前広場の整備、上沢勝瀬通り線の未整備区間の整備を考えている。

上福岡駅東口の交通状況と対策は

山田敏夫議員

上福岡駅東口の暫定整備が完了したが、その後の駅前の交通状況と

親しみのある空間創出を

小林憲人議員

まちの魅力や付加価値をつけるために、イルミネーションを行うって

答 地域や市全体のイメージアップにつながるイルミネーションを実施するときに、公園を

求められる公園のあり方とは

仙田 定議員

ニーズの変化や、災害対策などを考慮した公園の再整備を。

問 今後の再整備については、市内に設置した公園施設等再整備検討委員会」で検討し、方針を構築していく。

答 就労支援策の一環として、除草や清掃業務などを、生活保護受給者または障がいのある人の就労の場として活用できないか。

問 現在、4つの公園の除草・清掃業務を障がい者団体に委託している。今後も可能な範囲内で委託を考える。

答 生活保護受給者については、就労支援などを通じて経済的に自立し、保護脱却を目指す取り組みは重要である。今後研究していきたい。



公園遊具で健康づくり

公園に健康遊具を増設して

塚越洋一議員

亀久保西公園の健康遊具はよく利用されている。介護予防にも効果的なので、全市的に増設すべきでは。

答 夏ごろまでに「公園施設等再整備検討委員会」の結果を踏まえて、一定規模以上の公園に設置を検討したい。

桜通線の今後は

小高時男議員

桜通線は周辺商店街

の活性化及び災害時の避難路、延焼遮断帯の機能を持つ道路として整備されたが、その先の整備がとまっており、近隣住民は困っている。今後の進捗は。

答 接続先の都市計画道路入間線の整備時期の目途が立っていない。また、地権者の合意形成の難しさ等がある。しかし、桜通線は基盤整備や都市防災上欠かせないと認識している。

冬でも見やすいカーブミラーに

足立志津子議員

冬場の通勤時間帯は、カーブミラーが曇って見えず危険。防曇効果のあるミラーの導入を。

答 市内全域の鏡面は2600枚で、防曇用の単価は8万円くらい。効果

空き家・空き室の活用を

塚越洋一議員

今後増え続ける空き家・空き室を社会資源として活用し、地域コミュニティの活性化と再生に役立てるべき。民間団体とも協力して空

を見るため先進地を研究したい。

空き家問題への対応

岸川彌生議員

県では空き家問題について行政代執行が盛り込まれたモデル条例が示された。市の対応は。

答 県の指針を参考に調査研究する。

問 所有者の高齢化などいろいろな事情があつて、自分では空き家の植木等の管理ができない状況もある。所有者とシルバー人材センターとの植木等の管理の年間契約システムを構築してはどうか。

答 市も市有施設について年間契約を行つていく。同様にできるような方向性に検討する。